

# 作物栽培管理情報

令和8年4月号

大分県中部振興局 生産流通部 地域営農・水田活用班

## 麦の赤かび病に注意！

- 赤かび病は出穂期から乳熟期に曇天・降雨が続き、高温（20～27℃）の場合に多発します。
- 赤かび病になると減収や品質低下だけでなく、人畜に有害な「かび毒」を発生させます。
- 農産物検査でカルトンに赤かび病被害粒が1粒でも混入すると規格外となります（交付金も出ません）。
- 赤かび病は**必ず2回防除**を行いましょ！



赤かび病に感染した小麦の穂

### 【赤かび病防除適期】

令和8年産の麦類については、平年より出穂が早く、**防除適期が早くなる見込み**です。

赤かび病防除は、小麦・裸麦では開花最盛期に1回目を行い、1回目散布の7～10日後に2回目の散布を行いましょ。

麦種	防除適期	
	1回目	2回目
小麦	出穂 7～10日後	1回目散布の 7～10日後
裸麦	出穂 5～7日後	
二条大麦	出穂12～14日後	

開花始め



1回目防除適期(小麦)



### 【赤かび病防除薬剤の例】

薬剤名	散布量・倍率	使用時期	使用回数
ミラビスフロアブル	60～150 L/10a (1,500～2,000倍)	小麦 収穫7日前まで 大麦・裸麦 収穫14日前まで	2回以内
ワークアップフロアブル	60～150 L/10a (2,000～3,000倍)	小麦 収穫7日前まで 大麦・裸麦 収穫7日前まで	3回以内
トップジンM水和剤	60～150 L/10a (1,000～1,500倍)	小麦 収穫14日前まで 大麦・裸麦 <b>収穫30日前まで</b>	小麦 3回以内 (出穂期以降は2回以内) 大麦・裸麦 3回以内 (出穂期以降は1回以内)
チルト乳剤25	60～150 L/10a (1,000～2,000倍)	小麦 収穫3日前まで 大麦・裸麦 <b>収穫21日前まで</b>	小麦 3回以内 大麦・裸麦 1回

1回目防除について「小麦・黄斑病」と「大麦・網斑病」が多い場合は**チルト乳剤25**を散布してください。

※**トップジンM水和剤**散布は**収穫30日前まで**（大麦・裸麦）  
**チルト乳剤25**は**収穫21日前まで**（大麦・裸麦）

※1回目と2回目は異なる薬剤を使用しましょ  
※ラベルをよく読み使用しましょ

令和8年3月19日時点の登録情報です。  
使用する前に必ず登録内容を確認するようになしてください。

裏面へ



幼穂形成期以降に湿害にあうと大変な減収につながります。降雨後、数日たってもほ場に水がたまっていませんか？雨が降った後はクワを持ってほ場を巡回し、滞水しているほ場は落水口へと水が落ちるよう額縁排水溝と畦間、排水口を連結し、確実に水をほ場外へ排出しましょう。

額縁の四隅や排水口をつなぎ、排水口へ水を流す

## 水稻種子の取り扱い

### ◎ 水稻種子取り扱いの注意点

- ・ 種子消毒の薬液温度：  
消毒効果を高めるための薬液は15℃程度が目安。薬剤吹付種子の場合、浸種初日の水温が10℃以下にならないようにする。
- ・ 浸種時の水温と日数：種子消毒からの積算温度100℃(水温×日数)を目安とする。水温は10℃～15℃程度※10℃以下は二次休眠を誘発する可能性あり。種子が酸欠状態にならないようにするために水の交換を行う。浸種時はこまめに種子の状態を確認する。  
→胚乳がアメ色で透明、胚芽が白くなっているかを確認
- ・ 催芽：催芽温度は29℃～30℃を厳守。  
29℃未満・・・出芽遅れや不揃いを助長  
30℃以上・・・もみ枯れ細菌病などの発生リスクが高まる  
→種子が鳩胸状態～芽長2mm程度にそろった状態かを確認



種子の状態をしっかりと観察し、播種を行ってください。

右図：鳩胸状態の種子  
左図：芽が出すぎた種子

### 農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

#### ★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。

